

## 第7回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2010年7月16日(金)13:30~16:30

場所：東京電力柏崎刈羽原子力発電所

第7回研究会は東京電力柏崎刈羽原子力発電所を訪問し、「中越地震による被災復旧状況について」の講演を聞き、意見交換した後、東京電力柏崎刈羽原子力発電所内の関連施設を見学させて頂く企画でした。講演会・見学会参加者は15名、交流会参加は10名でした。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2010年7月16日(金)13時00分

集合場所：JR 信越本線柏崎駅 マイクロバスで柏崎刈羽原子力発電所サービスホール

2. 見学(1)：13:30~14:00 柏崎刈羽原子力発電所ビジターズハウス内を見学
3. 講演会：14:00~15:00 柏崎刈羽原子力発電所ビジターズハウス内会議室
3. 見学(2)：15:00~16:30 柏崎刈羽原子力発電所6号機を中心に見学
4. 交流会：18:30~20:30 柏崎「岬館」

1. 見学(1)

ビジターズハウスの最上階の展望フロアで発電所全体の模型を見せて頂き、樹木に囲まれた発電所の敷地を俯瞰させて頂いた。その後、原子炉圧力容器の上部カバーを外した模型などを見せて頂いた。

敷地面積 420万m<sup>2</sup>

沸騰水型原子炉(BWR) 110万kWが5基(1号機~5号機)

改良型沸騰水型原子炉(ABWR) 135.6万kWが2基(6号機、7号機)

現在は6・7号機が営業運転中、1号機が営業運転目前という稼働状況

ビジターズハウスの最上階の展望フロアの発電所全体の模型と参加者





原子炉圧力容器の上部カバーを外した模型  
実物大と思われ、建物2フロワーに渡って  
いる大きな模型である。

## 2. 講演会

林 勝彦副所長：「中越地震による被災復旧状況について」

写真正面の左側が講師の林 勝彦副所長、右側は今回の見学会をアレンジして頂いた  
山川孝義広報部員。



丁度今日が被災3周年の日だそうで、  
我々の見学の前に防災担当大臣が視  
察をされたとのことである。

柏崎刈羽原子力発電所の敷地の状況、  
施設の概要、原子力発電のしくみ及  
び被災状況と復旧状況について講演  
して頂いた。

## 3. 見学(2)



発電所内は写真撮影禁止。車の入門  
チェックに始まって、見学者も2  
枚のカードを首から提げて、何回も  
チェックを受けて6号機の原子炉  
建屋内に入れて頂いた。

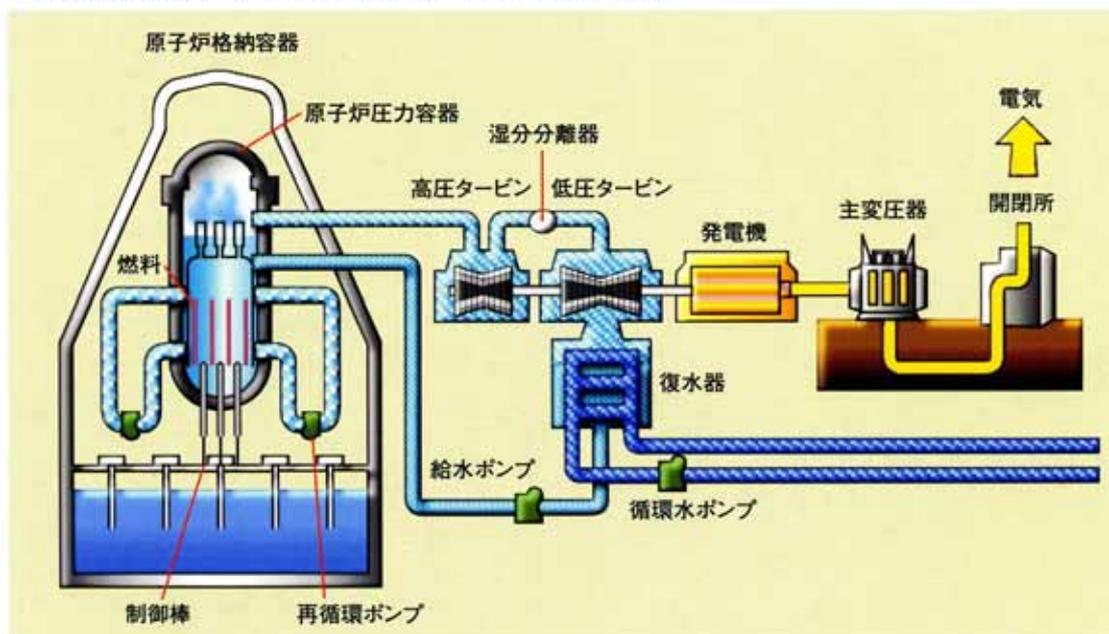
マイクロバスで構内を見学し、敷地  
中央の展望台から構内全体を俯瞰  
させて頂いた。写真は見学終了後  
にお茶が出て、質問する機会を作  
って頂いたもの。予定時間をオー  
バー。

## ■発電所全景



中央のマウンドが展望台、手前から展望台に向かって1号機から4号機、一番奥から展望台に向かって5号機から7号機が配置されている。今回の見学は6号機でした。

## ■沸騰水型原子炉 (BWR : Boiling Water Reactor)





左は原子力圧力容器の模型

下は原子炉格納容器のコンクリートの断面模型。鉄筋は D51 を使用している。



左は改良型沸騰水型原子炉の炉内の再循環ポンプ

模型は全てビジターハウス内に展示されているものである。

日帰り参加者は、ここで講演会・見学会を終了。マイクロバスで柏崎の駅まで送って解散。  
交流会参加者は、マイクロバスとマイカーで宿泊先の岬館に向かう。

#### 4. 交流会

- 1) 参加者 10 名。
- 2) 宿泊先の岬館で実施。
- 3) 会場は椅子席にして頂き、日本海に太陽が沈むのを眺めながら、新潟の美味しいお酒を頂いて気持ちの良い、話の弾む交流会でした。最後はお釜で炊いた白米でした。 以上

(文責：内藤 堅一)

